



あったかハート推進週間の取組（12月）

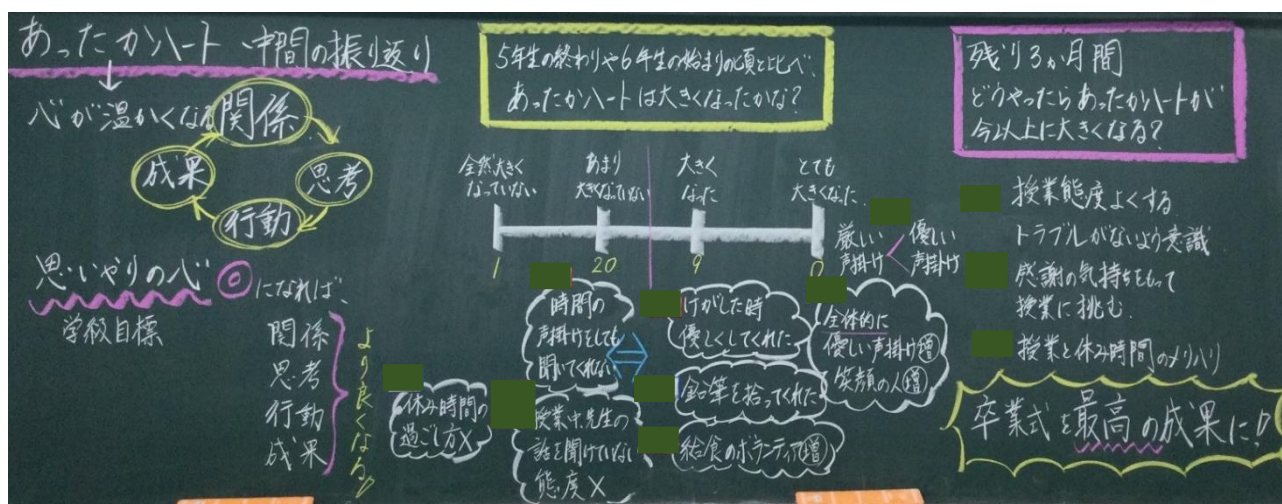
今年度、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。
12月は、以下の内容で行いました。

月	期 間	内 容
12月	12/5（月）～9（金）	学級活動③「みんなあったかハートの学級」になるための話し合い

1 実際の授業

【6年生】

6年生は、5年生の終わり頃や6年生の最初の頃と、今を比較して、「あったかハートは大きくなっていくか」について話し合いをしました。



「とても大きくなった」「大きくなった」「あまり大きくなっていない」「全然大きくなっていない」の4段階のうち、自分はどのあたりだと思うか、考えを示すよう働きかけると、「あまり大きくなっていない」と感じている子供が多くいました。また、その理由として、授業中の態度や互いの声かけなど、「学級全体のことを考えて行動している人が少ない」という理由が挙がりました。

しかし、「あったかハートが大きくなった」と考える子供たちの、「けがをしたときに優しくしてくれた」「給食の準備のときに、ボランティアで手伝う人が増えている」など、よいところを見付ける意見が出るにつれて、「あまり大きくなっていない」という意見だった子供たちも、自分たちの成長を感じていくことができました。また、「これから迎える卒業式では、6年間の最高の成果を表そう」という新たな目標を立てることができました。

授業の終末には、「これからあったかハートをもっと大きくしていくためには、どうしていけばよいか」について自分の考えを書きました。子供の感想を紹介します。

- ・学級の仕事は積極的に行い、学級に貢献できるようにする。
- ・残り3か月の学校の時間を有意義に使うため、目標をもって様々なことにチャレンジする。
- ・授業と休み時間のメリハリを付けて、1回1回の授業、1日1日の学校生活を大切にする。
- ・授業と休み時間とのメリハリを付けることで、心に余裕ができ、集中して授業に臨めると思う。
- ・みんなが、相手のことを考えればよいと思う。
- ・一人一人の見方を変えれば、優しい発言があふれる学級になると思う。
- ・誰に対しても平等に接し、先入観をもって関わらないようにする。

他の学年でも、各学級のすてきなところや互いのよさを感じながら、今後どうすれば、あったかハートを大きくできるかについて、真剣に話し合いました。